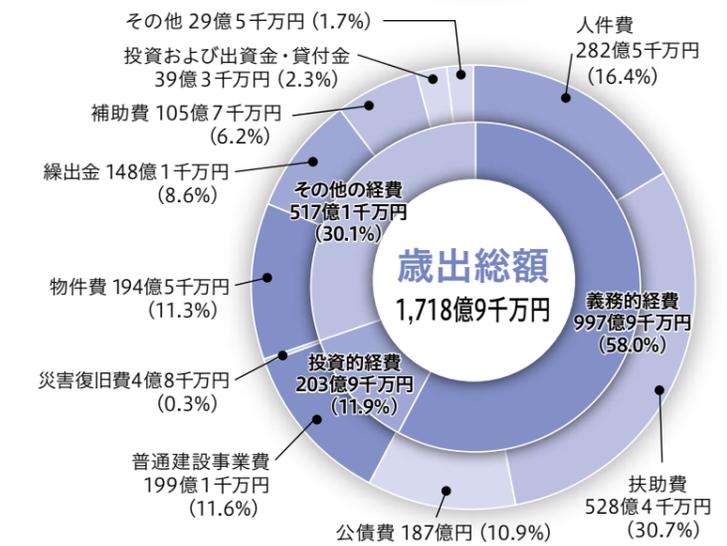
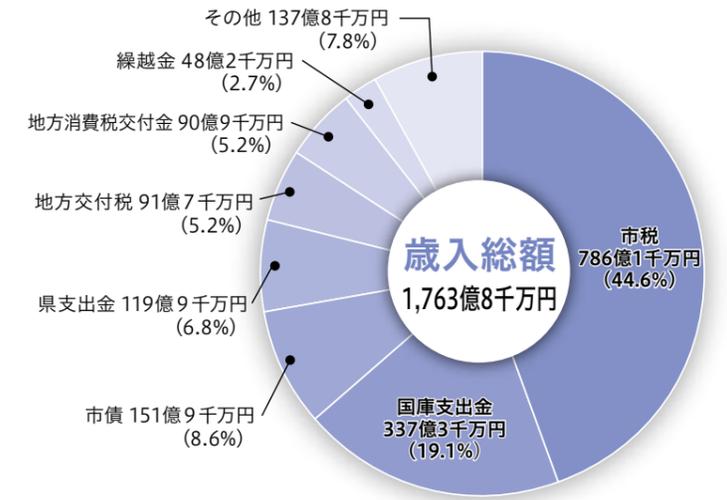


# 一般会計決算

令和元年第3回市議会定例会で、平成30年度大分市一般会計決算が認定されましたので、その概要についてお知らせします。(数字は概数)



## 歳入は前年度に比べて14億4千万円(0.8%)の減少

市税は、市民税が3億9千万円増加したものの、固定資産税が3億8千万円、市たばこ税が4千万円減少したことなどにより、5千万円の減収となりました。また、中学校の空調設備整備などに伴う市債発行が17億8千万円、私立保育所等給付費などの県支出金が4億4千万円増加した一方、前年度に大分市中心市街地祝祭広場整備事業の用地購入費として基金から繰り入れていたことなどから繰入金が増加し、歳入全体では14億4千万円の減少となりました。

## 歳出は前年度に比べて11億1千万円(0.6%)の減少

歳出を性質別に見ると、私立保育所等給付費の増加などに伴い扶助費が9億3千万円増加した一方、普通建設事業は前年度に大分市中心市街地祝祭広場整備事業において用地を購入したことなどから21億8千万円減少となり、歳出全体では、11億1千万円の減少となりました。なお、人件費、扶助費、公債費を合計した義務的経費は、997億9千万円となり、2億5千万円増加しました。

## 38億7千万円の黒字決算

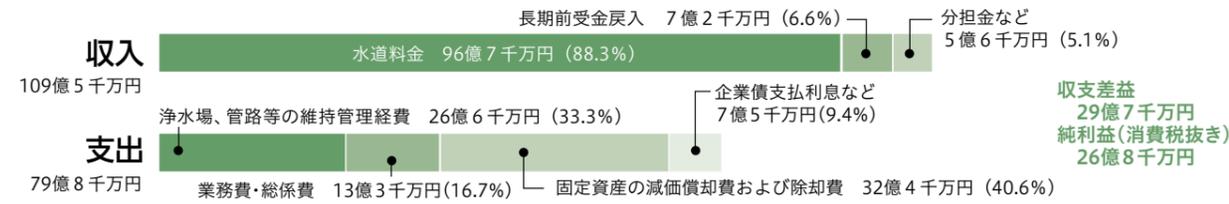
- ◎形式収支 44億9千万円 1,763億8千万円(歳入)ー1,718億9千万円(歳出)
- ◎実質収支 38億7千万円 44億9千万円(形式収支の黒字)ー6億2千万円(翌年度へ繰り越すべき財源)
- ◎平成30年度末現在の地方債残高は1,701億7千万円(前年度比22億円減)  
※市民1人当たりの地方債残高…35万6千円(前年度比4千円減)

## 平成30年度の目的別歳出金額と主な事業

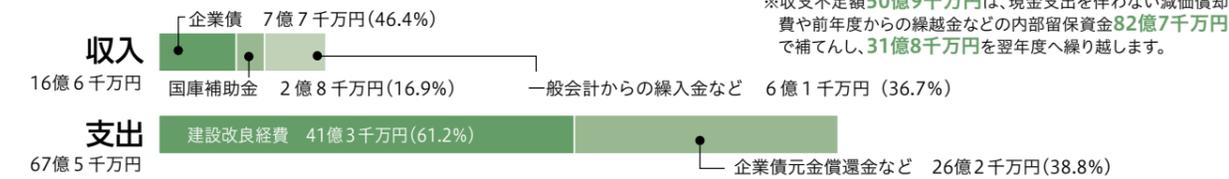
- 議会費…9億円
- 総務費…176億8千万円
  - 地域づくり交付金事業
  - 豊予海峡ルート推進事業
  - 国際スポーツ誘致推進事業
  - 大分市地域まちづくりビジョン策定事業
- 民生費…752億1千万円
  - 保育所等運営事業
  - 障がい者自立支援費
  - 高齢者ワンコインバス事業
- 衛生費…137億5千万円
  - 動物愛護拠点施設建設事業
  - 子ども医療費助成事業
  - 水素エネルギー導入推進事業
- 労働費…2億2千万円
  - 高齢者と若年者などの就労推進
- 農林水産業費…26億9千万円
  - 人・農地プラン推進事業
  - おおいた産品創出・魅力発信事業
  - 大分川ダム周辺整備事業
- 民生費…52億円
  - 企業立地推進事業
  - おおいた物産・食・観光魅力発信事業
  - 観光リーディングプロジェクト事業
  - 中小企業競争力強化支援事業
- 土木費…182億1千万円
  - 大分市中心市街地祝祭広場整備事業
  - 住環境整備事業
  - 公営住宅建設事業
- 消防費…51億円
  - 津波緊急避難施設整備事業
  - 自主防災組織活動支援事業
  - 消防車輛購入事業
- 教育費…137億5千万円
  - 中学校空調設備整備事業
  - プログラミング教育推進事業
  - 大友氏遺跡保存整備事業
- 災害復旧費…4億8千万円
- 公債費…187億円

## 平成30年度 水道事業会計決算

### ●水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支(収益的収支)



### ●水道施設の建設・更新などの投資にかかる収支(資本的収支)

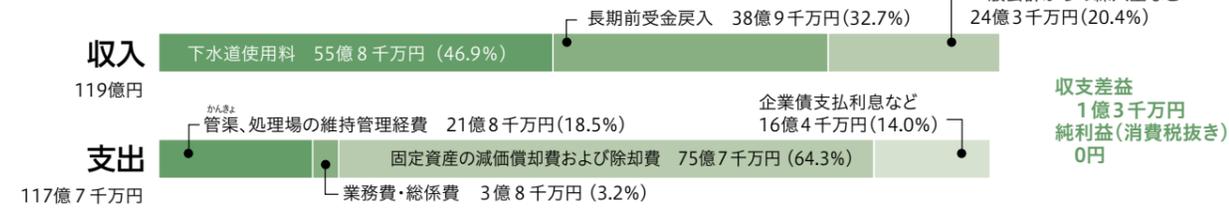


※収支不足額50億9千万円は、現金支出を伴わない減価償却費や前年度からの繰越金などの内部留保資金82億7千万円で補てんし、31億8千万円を翌年度へ繰り越します。

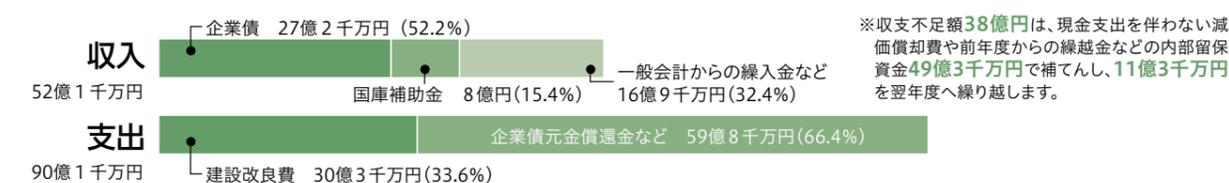
30年度の給水状況 (給水人口…475,595人 給水世帯…220,375世帯 普及率…99.53%)  
 (年間給水量…50,746,554m<sup>3</sup> 1日最大給水量…152,046m<sup>3</sup> 1人1日当たりの平均給水量…292ℓ)

## 平成30年度 公共下水道事業会計決算

### ●下水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支(収益的収支)



### ●下水道施設の建設・更新などの投資にかかる収支(資本的収支)



※収支不足額38億円は、現金支出を伴わない減価償却費や前年度からの繰越金などの内部留保資金49億3千万円で補てんし、11億3千万円を翌年度へ繰り越します。

30年度の業務状況 (処理区域内人口…303,149人 処理区域内世帯…141,859世帯 普及率…63.4%)  
 (年間処理水量…42,262,354m<sup>3</sup> 年間有収水量…33,076,902m<sup>3</sup> 有収率…78.3%)

※1…処理した汚水の年間水量。 ※2…年間処理水量のうち使用料徴収の対象となった年間水量。 ※3…処理した汚水のうち、使用料徴収の対象となる有収水の割合。有収率が高いほど使用料徴収の対象とすることができない地下水や雨水などの不明水が少なく効率的。

☎ 上下水道局経営企画課 ☎538-2404

## 大分市の財政は、早期健全化基準・経営健全化基準をすべてクリアしています

各基準は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づくものです。

■ 決算に係る健全化判断比率 (単位: %)				〈指標の説明〉
指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	
大分市	-	-	5.3	・実質赤字比率 一般会計などの赤字額の標準財政規模 <sup>※</sup> に対する比率
早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	・連結実質赤字比率 全会計の赤字額の標準財政規模に対する比率
				・実質公債費比率 地方債やこれに準じる支出額の標準財政規模を基本とした額に対する比率
				・将来負担比率 一般会計などの地方債や将来支払っていく負担の残高の標準財政規模を基本とした額に対する比率
				・資金不足比率 公営企業の赤字額の、料金収入などの収益に相当する事業規模に対する比率

※表中「-」は、該当比率がない(赤字額がない)ことを示しています。

※…その地方自治体の標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模

☎ 財政課 ☎537-5607

☎ 財政課 ☎537-5607